

地域おこし協力隊 活動記 Vol.119



今日は、JA相馬村と相馬小学校が連携しておこなった「田んぼ学習」の振り返りをしたいと思います。社会科で米づくりを学ぶ5年生が、田んぼで実際に稻作を体験すれば、教科書だけで勉強するよりも学びが深まるはず！ 相馬小の工藤校長先生、地域コーディネーターの田澤真由美さん、JA相馬村農業振興課・女性部と想いを共有し、今年度から「田んぼ学習」が始まりました。

学習のスタートは播種の見学でした。塩水を使って選別された品質のよい種もみの袋を持って重さを確かめたり、「田んぼ学習」が始まりました。

蒸気で加温して発芽させる機器を見学したりしました。身近に「田園ステーション」があるからこそできた、相馬ならでは見学になりました。

そして、ついに収穫！ 鎌を使った昔ながらのやり方で稻刈りをしました。農業振興課や女性部、インターンシップで来ていた大学生の手伝いもあって、安全で有意義な時間となりました。残暑が厳しく、暑い中での作業であつたこともあって、暑くても雨のなかでも仕事をする農家の大変さや偉大さを実感しているようでした。

リストはおにぎり作り！ 自分たちで育て、収穫したお米「青天の霹靂」をつかって、おにぎりを作りました。その他銘柄米でも作って、お米の食べ比べもし上げ、終わりにします。へば！

次に田植えをしました。田澤さんのご厚意で田んぼを貸していただき、一部を手植えするような形になりました。はじめに農業振興課の佐々木さんから苗の植え方のレクチャーを受け、後はひたすら田植え作業をしました。苗に触つたりするのが初めての子が多くつたみたいです。楽しそうにしていました。

